

あさせ  
「いよいよ浅瀬へ、会津最後の海」  
しおつぼそう  
(塩坪層)

Q5 下の写真は、どちらも「漣痕<sup>れんこん</sup>」をうつしたものです。「漣痕」とは、  
いったいなんのことなのか、「漣痕」は、どんなところにできるの  
か、2枚の写真をくらべて考えてみよう！



図12 軽沢峠付近で見られる「漣痕<sup>れんこん</sup>化石」(福島県指定文化財)



図13 相馬市松川浦で引き潮のときにあらわ  
れる「できたての漣痕<sup>れんこん</sup>」

塩坪層をおいかけて、西会津町<sup>からさわ</sup>軽沢峠へ行くと、「漣痕<sup>れんこん</sup>」とよばれる、波のうねりのあとを見ることができます。地層に残った波長の大きさから、水深は10<sup>メートル</sup>くらいと推定されています。耳をすますと、1,000万年前の波の音が、聞こえてくるようです。

会津の海は、いよいよ浅くなってきました。